

第12回独立行政法人海技教育機構契約監視委員会 議事概要

1. 日 時 令和2年6月22日（月）
2. 場 所 契約監視委員会委員及び関係者によるメール開催
（新型コロナウイルス感染症の拡大防止策としてメール開催）
3. 出席委員 （敬称略） 田中 俊弘（委員長） 一般社団法人日本船主協会 常務理事
金井 睦美 有限責任あずさ監査法人
パートナー／公認会計士
豊 文章 日本内航海運組合総連合会 事務局 経理部長
井上 浩一 独立行政法人海技教育機構 監事

4. 議 題

- （1）令和元年度の契約について
- （2）令和元年度調達等合理化計画の自己評価について
- （3）令和2年度調達等合理化計画（案）について

5. 概 要

（1）令和元年度の契約について

今回審議対象とした令和元年4月1日から令和2年3月31日に締結した契約について、「1者応札・1者応募となったもの」、「随意契約によらざるを得ないもの」及び「委員が抽出した応札案件」について、審議されました。

○審議対象契約 49件〔内訳：物品11件、役務37件、工事1件〕

（2）令和元年度調達等合理化計画の自己評価について

令和元年度調達等合理化計画における「2. 重点的に取り組む分野」及び「3. 調達に関するガバナンスの徹底」の自己評価について審議されました。

（3）令和2年度調達等合理化計画（案）について

令和元年度調達等合理化計画の実績を踏まえた令和2年度調達等合理化計画について審議されました。

6. 主な意見等

- ・「船内自動電話交換機の更新業務（日本丸）」について、予定価格と契約価格との価格差が大きいが、特に工夫したことはありますか。
→入札公告をホームページに掲載し、入札情報を広く周知していたことが新規業者の参加に繋がった結果だと考えられますので、今後も継続してまいります。
- ・「各種消火器及び呼吸器用ボンベの充填業務」について、一般的な業務であるのになぜ1者しか応札がないのでしょうか。
→1者応札の要因分析のため、最終的に入札に参加しなかった業者にヒアリングを実施したところ、業務都合等によるものとの回答がありました。
- ・契約審査委員会の判断結果が契約監視委員に見えるような取りまとめをしていただきたい。
また、取り組み実績に係る自己評価についても実績をアピールするのなら、具体的に件数を明示した方がよいのではないのでしょうか。
→今後検討いたします。
- ・機構の入札情報の閲覧を勧めた結果、競争性が増してコスト削減に繋がったことは評価できます。今後もコスト削減が最終目標であることを念頭に置いて業務を進めてください。
→今後も競争性及び品質を確保しつつ官公需法等諸施策との整合性に留意し、コスト削減に努めて参ります。